

資料6 都市マスタープラン見直しにあたっての視点

1. 土地利用

- (1) 良好で質の高い住環境保全のための土地利用誘導方策のあり方

2. 道路・交通ネットワーク

- (1) 歩きたくなるまちなかを目指した人中心の道路空間の創出、活用、沿道づくり
- (2) 新たなモビリティやデジタル技術を活用した多様で気軽な移動

3. 緑と水

- (1) 官民連携による質の高い公園整備やリニューアル
- (2) 民間との連携によるグリーンインフラの構築

4. 住宅・住環境整備

- (1) ニューノーマル社会に対応した職住融合などに合わせた住宅・暮らし方への対応
- (2) 子育て世代、高齢者をはじめとした多様なライフステージへの対応

5. 景観形成

- (1) 「文京区景観計画」の適切な運用による保全と魅力向上

6. 防災まちづくり

- (1) 大規模災害にも強靱な都市づくりへの対応
- (2) 集中豪雨による水害対策の強化

7. その他

(1) 環境・エネルギー

- 脱炭素社会に向けた都市基盤や建築の誘導
- AI やIoT 技術等の先端技術の活用によるスマートシティの構築

(2) 商業・観光

- 観光資源や商店街等との連携によるエリア価値の向上
- 居心地よく歩きたくなるまちなかづくり

(3) 産業

- 大学や企業等との連携による産業クラスターとイノベーション創出

(4) まちづくりの推進

- 大学や企業との連携によるエリアマネジメントの確立
- 区民、学生、就業者等、文京区に関わる様々な人々のまちづくりへの参加